

# アニマルアクティビティ

## (授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適性飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

|      |               |         |       |
|------|---------------|---------|-------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 荻野 直美 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○     |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36    |

## 目標

### 1学期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

### 2学期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

## 授業計画

### 1学期

- 1回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3回 AAT を行うためには
- 4回 動物がもたらす効果
- 5回 AAT を行う側からの分類①
- 6回 AAT を行う側からの分類②
- 7回 AAT を受ける側からの分類
- 8回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10回 動物の適性評価①
- 11回 動物の適性評価②
- 12回 テスト (筆記)
- 13回 テスト (解答) 前期まとめ
- 14回 活動中のストレス要因

### 2学期

- 15回 患者に合った動物を選ぶ
- 16回 AAT の適応に注意が必要な場合
- 17回 動物への不適切な扱い

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 18回 | 捨てず・増やさず・飼うなら一生①    |
| 19回 | 捨てず・増やさず・飼うなら一生②    |
| 20回 | グループワーク             |
| 21回 | 活動に参加する動物のチェック      |
| 22回 | 活動に際しての注意点          |
| 23回 | 活動当日の注意点 デモンストレーション |
| 24回 | ボランティアの責任           |
| 25回 | 施設と設定               |
| 26回 | 動物を飼う「食事編」          |
| 27回 | 動物を飼う「環境編」          |
| 28回 | 動物を飼う「体の手入れ編」       |
| 29回 | 動物を飼う「運動編」          |
| 30回 | 動物を飼う「予防編」          |
| 31回 | 動物を飼う「トレーニング編」      |
| 32回 | 動物を飼う「愛情・絆編」        |
| 33回 | 後期ノートチェック、テスト範囲まとめ  |
| 34回 | 後期ノートチェック、テスト範囲まとめ  |
| 35回 | テスト（筆記）             |
| 36回 | テスト（解答）後期まとめ        |

|                                    |
|------------------------------------|
| <small>じゅぎょう ほうほう</small><br>授業の方法 |
| 講義、演習、グループワーク                      |

|                              |
|------------------------------|
| <small>きょうざい</small><br>教材   |
| ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター |

|  |
|--|
| <small>ひょうか ほうほう</small><br>評価の方法        |
| <small>きまつしけん</small><br>期末試験80%、出席率 20% |

|   |
|---|
| <small>じゅぎょうがい がくしゅうほうほう</small><br>授業外での学習方法 |
| なし  |

|  |
|--|
| <small>けいけん じゅぎょうか もく かんけい</small><br>経験と授業科目の関係 |
| あり   |

# エキゾチックアニマル I

## (授業概要)

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

|      |               |         |    |
|------|---------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 金田 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○  |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36 |

## 目標

### 1 前期

エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

### 2 後期

ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

## 授業計画

### 前期

- 1回 エキゾチックアニマルとは
- 2回 ペットの適性について
- 3回 ハムスターについて（分類、歴史）
- 4回 ハムスターについて（体の特徴）
- 5回 ハムスターについて（体の特徴）
- 6回 ハムスターについて（生理的な特徴）
- 7回 ハムスターについて（飼育方法）
- 8回 ハムスターについて（繁殖）
- 9回 ハムスターについて（病気）
- 10回 ハムスターについて（病気）
- 11回 前期試験
- 12回 前期試験返し・解答
- 13回 ウサギについて（分類・歴史）
- 14回 ウサギについて（体の特徴）

## 後期

- 15回 ウサギについて（体の特徴）
- 16回 ウサギについて（生理的な特徴）
- 17回 ウサギについて（飼育方法）
- 18回 ウサギについて（繁殖）
- 19回 ウサギについて（病気）
- 20回 ウサギについて（病気）
- 21回 モルモットについて（分類・歴史）
- 22回 モルモットについて（体の特徴）
- 23回 モルモットについて（体の特徴）
- 24回 モルモットについて（生理的な特徴）
- 25回 モルモットについて（飼育方法・繁殖）
- 26回 モルモットについて（繁殖）
- 27回 モルモットについて（病気）
- 28回 モルモットについて（病気）
- 29回 フェレットについて（分類・歴史）
- 30回 フェレットについて（体の特徴）
- 31回 フェレットについて（生理的な特徴）
- 32回 フェレットについて（飼育方法）
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返し・解答
- 35回 フェレットについて（病気）
- 36回 フェレットについて（病気）

## じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義

## きょうざい 教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

## ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

## じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# グルーミング概論・実習Ⅰ

## (授業概要)

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

|      |               |         |        |
|------|---------------|---------|--------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 神坂 美紀  |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○      |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36×7時間 |

## 目標

### 1学期

グルーミング道具の使い方、用途を理解し、1頭仕上げる事が出来るようになる

ハサミの動かし方、犬の保定の仕方、犬の扱い方、消毒の仕方、掃除の仕方を理解し身に付ける

### 2学期

犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを取得する

グルーミングマスターライセンスの取得に向けてスピードアップ、綺麗な仕上げを目指す

(チワワ：100分 ダックスフンド・パピヨン：115分仕上げ)

## 授業計画

### 1学期

1回 道具配布・座学（グルーミングとは・ベイシック）

2回 座学（ドライイング・実習について）

3回 座学（ウィッグ梳き・リボン作成）

4回 モデルグルーミング

5回 初グルーミング実習（3人で1頭）・実習の流れの理解

6回 グルーミング実習（3人で1頭）・バリカン開始・ハサミ練習

7回 グルーミング実習（3人で1頭）・ハサミ練習

8回 グルーミング実習（3人で1頭）・足回りカット開始

9回 グルーミング実習（2～3人で1頭）

10回 グルーミング実習（2～3人で1頭）

11回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2人で1頭）

12回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2人で1頭）

13回 グルーミング実習（1～2人で1頭）・一般犬での実習開始

14回 グルーミング実習（1～2人で1頭）・中型犬開始

### 2学期

15回 グルーミング実習（1～2人で1頭）・大型犬開始

- 16回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 17回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 18回 グルーミング実習 (1人で1頭)
- 19回 グルーミング実習 (1人で1頭)
- 20回 グルーミング実習 (1人で1頭)
- 21回 グルーミング実習 (1人で1頭)
- 22回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 23回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 24回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 25回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 26回 グルーミング実習 (1人で1頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 27回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
- 28回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
- 29回 グルーミング実習 (1人で1頭)
- 30回 モデルグルーミング (部分カット)
- 31回 グルーミング実習 (部分カット)
- 32回 グルーミング実習 (部分カット)
- 33回 グルーミング実習 (カット犬種のシャンプー開始)
- 34回 グルーミング実習 (カット犬種・部分カット)
- 35回 グルーミング実習 (カット犬種・部分カット)
- 36回 グルーミング実習 (カット犬種・部分カット)

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・実技実習

きょうざい  
教材

グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

ペットショップのトリマーとして勤務

# コンパニオンキャットⅠ

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護師）を目指すうえでしておくべき猫の基礎知識について、種類や歴史、身体の特徴、繁殖、病気を中心に全般的な知識を習得する。

|      |                                |         |       |
|------|--------------------------------|---------|-------|
| 科    | 生命科学科                          | 教員      | 上田阿由美 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース<br>トリミングサロン起業コース | 教員の実務経験 | ○     |
| 対象年次 | 1年                             | 年間単位時間  | 36時間  |

## 目標

### 1学期

猫についての基本的な知識を知るとともに、猫と犬の違いを学ぶ。また、猫の行動学も学び、理解をし、説明できるようになる。

### 2学期

猫種、仔猫の健康チェック方法、ケアーの仕方、伝染病などの猫の病気を学び、それらを人に伝えられるようになる。

## 授業計画

### 1学期

- 1回 オリエンテーション（授業のルール・評価の出し方。）上田の自己紹介
- 2回 プロのMIXと純血種の定義
- 3回 LH/SHの性格。遺伝等の違い
- 4回 アメリカンショートヘアについて
- 5回 MALE/FEMALEの性格等の違い
- 6回 猫と犬の違い①（習性・体型・感触）
- 7回 猫と犬の違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 8回 猫と犬の違い③（種類・腸管・歯・毛色）
- 9回 猫と犬の違い④（繁殖機能）
- 10回 行動学①（舌・爪・尾）
- 11回 前期末テスト
- 12回 前期末テスト答え合わせ&不理解部分の説明
- 13回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 14回 行動学③（内臓・皮膚・体感・マタタビ）

### 2学期

- 15回 CFA公認猫種のDVD①
- 16回 CFA公認猫種のDVD②



- 17回 猫のタイプによる分類
- 18回 猫のカラーによる分類
- 19回 子猫の健康チェック①
- 20回 子猫の健康チェック②
- 21回 子猫の健康チェック③
- 22回 毎日のケア①
- 23回 毎日のケア②
- 24回 毎日のケア③
- 25回 ワクチンについて①
- 26回 ワクチンについて②
- 27回 ワクチンについて③
- 28回 猫の病気①
- 29回 猫の病気②
- 30回 猫の病気③
- 31回 猫の血液型①
- 32回 猫の血液型②
- 33回 猫の血液型③ ( F N I )
- 34回 後期末テスト
- 35回 後期末テストの答え合わせ & 不理解部分の説明
- 36回 総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

C F A猫種 スタンダード訳本

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

猫の健康チェックやケアを実際に猫でやってみる

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

## コンパニオンドッグ I

### (授業概要)

- ・ 犬と共存するための知識を身につける。
- ・ 犬種ごとの生態・特徴を理解し、他者に説明ができる人材を育成する。

|                  |                              |                          |        |
|------------------|------------------------------|--------------------------|--------|
| か<br>科           | 生命科学科                        | きょういん<br>教員              | 岡田 有沙  |
| コース              | ドッグスペシャリスト (A・B)<br>トリミング起業家 | きょういん じつむけいけん<br>教員の実務経験 | ○      |
| たいしょうねんじ<br>対象年次 | 1年                           | ねんかんたんいじかん<br>年間単位時間     | 36×2時間 |

### もくひょう 目標

#### 1 学期

犬の基本的な生態、歴史を理解する／人気犬種 5 種を知る。

#### 2 学期

グループごとの犬の生態を理解する。

### じゅぎょうけいかく 授業計画

- 1 回 自己紹介①
- 2 回 自己紹介②
- 3 回 アニマルヒストリー：犬とは
- 4 回 犬種を学ぶ上での基本情報①
- 5 回 犬種を学ぶ上での基本情報②
- 6 回 犬種を学ぶ上での基本情報③
- 7 回 人気犬種①②
- 8 回 人気犬種③④
- 9 回 人気犬種⑤
- 10 回 前期振り返り・試験前対策
- 11 回 試験 (実施)
- 12 回 試験 (返却・解説)
- 13 回 犬のグループ分けについて
- 14 回 第 1 グループ①
- 15 回 第 1 グループ②
- 16 回 第 2 グループ①

- 17回 第2グループ②
- 18回 第3グループ①
- 19回 第3グループ②
- 20回 第5グループ①
- 21回 第5グループ②
- 22回 第6グループ①
- 23回 第6グループ②
- 24回 第7グループ①
- 25回 第7グループ②
- 26回 第8グループ①
- 27回 第8グループ②
- 28回 第9グループ①
- 29回 第9グループ②
- 30回 第10グループ①
- 31回 後期振り返り②・試験前対策
- 32回 試験（実施）
- 33回 試験（返却・解説）
- 34回 振り返り①
- 35回 振り返り②
- 35回 振り返り③

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

教科書、プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

しまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

教科書、ノート、プリントの復習

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

有

# コンピュータ実習

## (授業概要)

動物に関わる全ての職業に共通したP Cスキル (Word 基礎、Excel 基礎、PowerPoint 基礎を学びレポート作成及び表計算の基礎と応用) を修得できる。

|      |               |         |    |
|------|---------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 林  |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ×  |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36 |

## 目標

### 1 学期

レポート及び報告書を作成できるようになり、レポートを指定したフォーマットに自分で設定して作成する事が出来るようになる。

### 2 学期

表計算とグラフ機能を使用して実績等をまとめる事が出来るようになる。

プレゼンテーションの基礎としてアニメーションを組み込んだ発表を出来る様になる。

Excel において効果的に関数を利用した表を作成出来るようになる。

## 授業計画

### 1 学期

1 回 PC 基礎操作及び授業内容の説明。Google スプレッドシートを軸とした情報共有作業の基礎。

2 回 クラウドとローカル両方での保存領域確保。PC スキルチェックテスト。

3 回 成績判定について。

4 回 アプリ起動方法・Word 画面説明、文字入力、フォントサイズ変更、クラウド保存領域への別名保存。成績評価における提出物保存先の説明と確認。

5 回 クラウドからの授業資料ダウンロード、ローカル保存領域への別名保存。授業資料へ画像の挿入及び編集。文章のコピー・貼り付け、揃え。箇条書き設定。

6 回 あいさつ文活用法、ビジネス文書課題作成。教科書 P51 から特定の文章のみ変更。

7 回 表の挿入、行列の幅変更、セル結合・セル書式設定、段落罫線の設定。

8 回 表を利用した文書課題作成、教科書 P98 から特定の文章のみ変更。

9 回 ペイントを使用した画面のスクリーンショット、画像編集。挿入した画像と文章の折り返し設定。写真のサイズ・スタイル変更。

10 回 前期試験についての説明、テスト対策。

11 回 Excel 画面説明、文字入力・データの修正、オートフィルの利用、罫線の使い方、四則演算数式の利用。

12 回 SUM・AVERAGE 関数の利用。スプレッドシート上での SUM・AVERAGE 関数の利用。

13 回 長期休みと SNS。ネット炎上から見る個人情報管理と情報発信について。

## 2学期

- 14回 絶対参照、数値の表示設定(桁区切り、パーセント、小数点)、行列の挿入・幅の調節。
- 15回 スプレッドシート上でのデータ入力、フィルターの使用、データの簡易分析。
- 16回 アプリ間データ共有、Excel 表の Word 差し込み。
- 17回 ビジネス文書について。ビジネス文章作成課題、Word での横書き送付状作成。
- 18回 ビジネス文書作成課題。Word での縦書きお礼状作成。
- 19回 ビジネス文書作成課題。Excel での交通費申請書作成、マップアプリによる経路検索。
- 20回 ビジネス文書作成課題。Excel での有給休暇申請用紙作成。
- 21回 PowerPoint 第 0 回 基本操作の説明、画像の挿入。フォントの変更。
- 22回 PowerPoint 第 1 回 プレゼン作成課題の説明、プレゼンデモンストレーション。
- 23回 PowerPoint 第 2 回 プレゼン作成課題準備その 1
- 24回 PowerPoint 第 3 回 プレゼン作成課題準備その 2
- 25回 PowerPoint 第 4 回 プレゼン作成課題準備その 3
- 26回 PowerPoint 第 5 回 プレゼン作成課題準備その 4
- 27回 PowerPoint 第 6 回 プレゼン作成課題準備その 5
- 28回 PowerPoint 第 7 回 プレゼン発表。
- 29回 PowerPoint 第 8 回 発表のフィードバック、声と表現法について。
- 30回 PowerPoint 第 9 回 プレゼン作成課題 2 の説明、プレゼンデモンストレーション。
- 31回 後期試験についての説明、テスト対策。
- 32回 PowerPoint 第 10 回 プレゼン作成課題 2 準備その 1
- 33回 PowerPoint 第 11 回 プレゼン作成課題 2 準備その 2
- 34回 PowerPoint 第 12 回 プレゼン作成課題 2 準備その 3
- 35回 PowerPoint 第 13 回 プレゼン作成課題 2 準備その 4
- 36回 PowerPoint 第 14 回 プレゼン発表、発表のフィードバック。

## 授業の方法

講義、実演、課題作成

## 教材

よくわかる Word2016 & Excel2016、よくわかる仕事に使える Excel 関数ブック、PowerPoint は事前に作成したスライドを使用

## 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

## 授業外での学習方法

課題作成を行い、自身で作成するスキルを向上。知らない知識や単語を調べる。

じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

# ドッグトレーニング概論

## (授業概要・目的)

犬を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師、ドッグトレーナー）をする上で必要な知識を身につけるために犬の生態、特質、犬種のもつ特性を理解し犬を正しく扱えるようになる。また家庭犬としてのしつけに必要な知識と技術を得る

|      |               |         |         |
|------|---------------|---------|---------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 高山美左    |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○       |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36回×3時間 |

## 目標

### 1 学期

犬の歴史と進化、家畜化について理解する。犬の生態、習性を知る

### 2 学期

犬のボディランゲージやサインを理解し、犬とのコミュニケーション技術を得る  
人と犬との生活のルールやマナーを構築していく為の知識をつける

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 実習の諸注意、班分け、
- 2回 犬の歴史
- 3回 犬の進化
- 4回 家畜化とは
- 5回 犬の生得的本能
- 6回 犬の素因、犬種の特徴、特質について
- 7回 犬の素因と育つ環境の相互作用
- 8回 犬の脳と行動の関係
- 9回 子犬の成長過程 1
- 10回 子犬の成長過程 2
- 11回 犬の群れの階級とは
- 12回 テスト
- 13回 テスト
- 14回 テスト返し、解答

## 2学期

- 15回 犬のボディランゲージ/同種同士のコミュニケーション
- 16回 ボディランゲージ1
- 17回 ボディランゲージ2
- 18回 犬のストレス
- 19回 犬の威嚇、攻撃行動
- 20回 カーミングシグナル
- 21回 カーミングシグナル
- 22回 犬のパーソナルスペース
- 23回 犬と人との暮らしについて/犬を飼うことのリスクとメリット
- 24回 家庭犬の選び方/家庭犬のしつけとは
- 25回 犬の去勢と避妊について/多頭飼育について
- 26回 犬の飼い主の為のリーダーシップ教育とは/リードプログラム
- 27回 リードプログラム
- 28回 ハウストレーニングとトイレトレーニング
- 29回 甘噛み・いたずら噛み
- 30回 子供のいる家庭での犬との関係づくり
- 31回 嫌悪刺激によるトレーニングの弊害と動物虐待、暴力の連鎖
- 32回 テスト
- 33回 テスト
- 34回 テスト返し、解答
- 35回 お散歩のマナーとは
- 36回 家庭犬のしつけのまとめ

### 授業じゆぎょう ほうほうの方法

座学、実際に犬を使っての実技実習

### 教材きょうざい・

テキスト、DVD等

### 評価ひょうか ほうほうの方法

期末試験80%、出席率20%

### 授業外じゆぎょうがい がくしゅうほうほうでの学習方法

実習犬の散歩等を通して、犬の管理や取扱い



じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# ビジネスマナー

## (授業概要)

ビジネスマナーは社会人にとっての基本となります。

例えば目を合わせて挨拶が出来ない、言葉の使い方がおかしい、名刺交換の仕方を知らない、上座がどこか分からないなど、「ビジネスマナーの基本を身につけていない人」をみなさんは信用、信頼ができますか？

この科目では社会人として基本的に必要なビジネスマナーを理解、実践ができるようになる事を目的とし、人間関係や信頼関係を構築できるようになる事とします。

|      |             |         |       |
|------|-------------|---------|-------|
| 科    | 生命科学科       | 教員      | 荻野 将士 |
| コース  | DOG,TEP,WLD | 教員の実務経験 | ×     |
| 対象年次 | 1年          | 年間単位時間  | 36    |

## 目標

### 1 学期

就職活動やインターンシップでの重要となる書類である履歴書とお礼状。

この2つの書き方やマナーを知り、正しく書けるようになる事。

スーツの着方(男性の場合は身だしなみやネクタイの結び方など、女性の場合も身だしなみやアクセサリなど)の間違いと正解を区別できるようになる。

立ち方やお辞儀の仕方などの所作を身につける。

敬語(丁寧、謙譲語、尊敬語)の差別化をして理解し話せるようになる。

現代の最新のビジネスマナーでもあるリモートワークマナーを知る。

席次(上座と下座)、名刺交換の基本を理解し実践ができるようになる。

### 2 学期

電話対応の基本を理解する。

ビジネス文書のシーンに合った使い分けが出来るようになる。

封筒の基本と宛名の書き方に関するマナー理解できるようになる。

冠婚葬祭のマナーを理解できるようになる事。

食事と飲み会に関するビジネスマナーがある事を知り、理解できるようになる。

ビジネスで使われる用語の語句と意味を覚え、理解し使えるようになる。

## 授業計画

### 1 学期

1回 自己紹介(自分の長所、短所、趣味など面接でよく聞かれる項目も入れて発表を行う)

2回 学校でのエレベータの使い方、受付の利用の仕方、校舎見学

3回 履歴書の書き方①(個人情報の書き方について)

4回 履歴書の書き方②(志望動機、セールスポイントなどの自己PRの書き方)

5回 履歴書の書き方③(資格、好きな科目などの書き方)

- 6回 お礼状の書き方・実践①
- 7回 お礼状の書き方・実践②
- 8回 お礼状の書き方・実践③
- 9回 封筒の書き方・送り方①
- 10回 封筒の書き方・送り方②
- 11回 ビジネス会話の基本①(敬語について)
- 12回 ビジネス会話の基本②(定番の言い回し、クッション言葉)
- 13回 席次①(上座と下座について)
- 14回 席次②(シチュエーション別の席次、実践)
- 15回 会社での挨拶の仕方、立ち方、お辞儀の基本、椅子の座り方、入退室の基本。
- 16回 試験対策(復習課題)
- 17回 試験
- 18回 試験フィードバック

## 2学期

- 19回 電話応対
- 20回 ビジネス文書①(紙文書)
- 21回 ビジネス文書②(メール)
- 22回 ビジネス文書③(FAX)
- 23回 リモートワークマナー
- 24回 名刺交換(名刺交換の基本、同時交換、複数交換)①
- 25回 名刺交換(実践)②
- 26回 履歴書復習
- 27回 求人票の見方
- 28回 ビジネス用語について①(基本編)
- 29回 ビジネス用語について②(求人編)
- 30回 ホウレンソウ、5W3Hについて、人間関係のマナー
- 31回 お礼状復習
- 32回 雇用形態について
- 33回 会社での役職の序列と役割について
- 34回 試験対策(復習課題)
- 35回 試験
- 36回 試験フィードバック

きょうざい  
教材

プリント配布

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

校内やプライベートでも意識して実践をする。

例えばエレベータにて席次を意識して乗る事。先生やアルバイト先の先輩・店長など常日頃、敬語(丁寧語、尊敬語)を意識して話すなど。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

# ペット業界研究

## (授業概要)

将来働くことになる動物業界の主にペット系分野についての、職業や業界の概要を学び、より幅広い視野を持つとともに、進路選択において柔軟な考えを持たせる。

|      |               |         |       |
|------|---------------|---------|-------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 立林・稲岡 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○     |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36時間  |

## 目標

### 1学期

職業や卒業後の進路について実体験を聞いて現実的にとらえる

### 2学期

業界の問題とその解決に向けて自分たちが将来何をすべきかを考え、進路選択をする

## 授業計画

- 1回 KAP学生としての心得
- 2回 就職活動とは
- 3回 ペット業界の職業①
- 4回 ペット業界の職業②
- 5回 ペット業界の職業③
- 6回 ペット業界の職業④
- 7回 ペット業界の職業⑤
- 8回 ペット業界の職業⑥
- 9回 ペット業界での就職への道のり①
- 10回 ペット業界での就職への道のり②
- 11回 前期期末試験
- 12回 前期期末試験返却
- 13回 インターンシップ実習について
- 14回 インターンシップ実習について
- 15回 インターンシップ実習について
- 16回 インターンシップ実習について

- 17回 ペット業界での問題
- 18回 ペット業界での問題
- 19回 ペット業界での就職への道のり③
- 20回 ペット業界での就職への道のり④
- 21回 企業説明会準備
- 22回 企業説明会準備
- 23回 企業説明会振り返り
- 24回 今後の進路・就職活動計画①
- 25回 今後の進路・就職活動計画②
- 26回 自己分析①
- 27回 自己分析②
- 28回 自己分析③
- 29回 1年生の振り返り
- 30回 進路選択①
- 31回 進路選択②
- 32回 進路選択③
- 33回 進路相談
- 34回 後期期末試験
- 35回 後期期末試験返却・解説
- 36回 まとめ・振り返り・進級に向けて

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義・プリント作成・面談など

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 人間形成概論

## (授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。心身ともに健康な生活を送るために必要なヘルスリテラシーを身につける。

|      |               |         |          |
|------|---------------|---------|----------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 校長：中野美和子 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○        |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36単位     |

## 目標

### 1 学期

人間の身体と心の関係、人間関係の基本である自己概念について考える。次いで、対人認知に関わる理論と実際を学び、考える。

### 2 学期

基礎的なコミュニケーションの概略を学び、次いで集団での行動、心理について学び、集団の一員として働き方、コーチングを含めた成人教育について学び、考える。

健康についてのリテラシー、生活習慣病の予防について学び、職場でのストレスへの対処力を身につけ、健康で有意義な人生を送る一助とする。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 アイスブレイクを兼ねた講師の自己紹介、人間の身体と心の関係
- 2回 自律神経とストレスの関係、自律神経の整え方
- 3回 自己認識・評価、リフレーミング
- 4回 自分を大事にする、self-compassion
- 5回 自尊感情 (self-esteem)、自己主張 assertive
- 6回 対人感受性、心の理論、
- 7回 印象形成、対人認知とその歪み
- 8～10回 対人認知の歪み：ステレオタイプ、偏見、透明性錯覚、現状維持バイアスなど
- 11回 試験対策、
- 12回 試験、あるいはレポート、
- 13回 試験のフィードバック

### 2 学期

- 14～15回 コミュニケーションの概略、不適切表現
- 16回 内集団、内集団ひいき、集団圧力、同調、傍観者効果
- 17回 集団、集団浅慮、集団心理～群集心理、社会的手抜き

18~19回 リーダーシップ、チームで仕事をするについて  
20~22回 成人教育、コーチングとフォローアップ  
23回 ヘルスリテラシー、日本人の寿命と主な死因の現況、日本の健康政策  
24~28回 生活習慣病の概要とその予防：がん、循環器疾患・高血圧、糖尿病・脂質異常、COPD  
29回 飲酒、依存症、歯科疾患の概況と予防、  
30~31回 睡眠、疲労、メンタルヘルス  
32回 試験対策、  
33回 試験、レポート、  
34回 試験、レポートのフィードバック  
35~36回 感情処理、ストレス、ストレス対処

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

きょうざい  
教材

適切な教科書がないため、試験対策時に講義内容をまとめたプリントを配布する。

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験・レポート提出 90%、じゅぎょうたいど 授業態度10%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

自分自身の経験を考察するレポートを書く。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり



# 公衆衛生 I

## (授業概要)

本来はヒトの健康維持・増進を目的とする学問だが、疾患や環境問題の要因には動物との接触に起因するものも多数存在する。そこで、動物を扱うものとして共生社会を追究すべく、広く公衆衛生に関する知識を習得し、動物に関わる仕事全般に役立てる。

|                  |               |                          |    |
|------------------|---------------|--------------------------|----|
| か科               | 生命科学科         | きょういん<br>教員              | 森  |
| コース              | ドッグスペシャリストコース | きょういん じつむけいけん<br>教員の実務経験 | ○  |
| たいしやうねんじ<br>対象年次 | 1年            | ねんかんたんいじかん<br>年間単位時間     | 36 |

## もくひやう 目標

### 1 学期

人獣共通感染症について学び、説明できるようになる。

### 2 学期

寄生虫疾患と食中毒について学び、説明できるようになる。

## じゆぎくうけいかく 授業計画

### 1 学期

- 1回 公衆衛生学を知る(1)
- 2回 公衆衛生学を知る(1)、公衆衛生の捉え方(1)
- 3回 公衆衛生の捉え方(2)
- 4回 人獣共通感染症学総論(感染、疫学、予防)
- 5回 人獣共通感染症学各論(細菌性疾患)(1)
- 6回 人獣共通感染症学各論(細菌性疾患)(2)
- 7回 人獣共通感染症学各論(細菌性疾患)(3)
- 8回 人獣共通感染症学各論(細菌性疾患)(4)
- 9回 人獣共通感染症学各論(細菌性疾患)(5)
- 10回 人獣共通感染症学各論(リケッチア性疾患)(6)
- 11回 人獣共通感染症学各論(リケッチア性疾患、ウイルス性疾患)(7)
- 12回 試験
- 13回 試験返却
- 14回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(8)

### 2 学期

- 15回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(9)
- 16回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(10)

- 17回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(11)
- 18回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(12)
- 19回 人獣共通感染症学各論(ウイルス性疾患)(13)
- 20回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(14)
- 21回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(15)
- 22回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(16)
- 23回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(17)
- 24回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(18)
- 25回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(19)
- 26回 人獣共通感染症学各論(寄生虫性疾患)(20)
- 27回 食品衛生学総論
- 28回 食品衛生学各論(食中毒)(1)
- 29回 食品衛生学各論(食中毒)(2)
- 30回 食品衛生学各論(食中毒)(3)
- 31回 試験
- 32回 試験返却
- 33回 食品衛生学各論(食中毒)(4)
- 34回 食品衛生学各論(食中毒)(5)
- 35回 食品衛生学各論(食中毒)(6)
- 36回 総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学

きょうざい  
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ノートを纏めなおし、授業前に教員に提示する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物看護基礎実習

(授業概要)

動物の取り扱いから健康管理に関する基礎知識を理解し、実践力を習得する。

|      |               |         |    |
|------|---------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 石原 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○  |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 72 |

## 目標

### 1学期

正しく動物を扱うことができる

基本的な保定ができる

### 2学期

基本的な健康チェックができる

エキゾチックの基本的な健康チェックができる

## 授業計画

### 1学期

- 1回 自己紹介、授業について
- 2回 動物への接し方、保定について
- 3回 犬の保定（立位、犬座）
- 4回 犬の保定（伏臥位、横臥位）
- 5回 実習（犬の保定）
- 6回 猫の保定
- 7回 実習（猫の保定）
- 8回 バイタルサイン（体重、体温）
- 9回 バイタルサイン（脈拍、呼吸、CRT）
- 10回 バイタルサインの注意点
- 11回 試験対策
- 12回 前期試験
- 13回 試験返却
- 14回 復習

### 2学期

- 15回 健康チェック
- 16回 健康チェック
- 17回 実習（バイタルサイン、健康チェック）

- 18回 フィラリア予防
- 19回 フィラリア予防
- 20回 ノミダニ予防
- 21回 ノミダニ予防
- 22回 狂犬病、混合ワクチン
- 23回 混合ワクチンで防げる病気（犬）
- 24回 混合ワクチンで防げる病気（猫）
- 25回 避妊手術、去勢手術について
- 26回 避妊手術で予防できる病気
- 27回 去勢手術で予防できる病気
- 28回 肥満予防
- 29回 肥満予防
- 30回 エキゾチック1
- 31回 エキゾチック2
- 32回 エキゾチック3
- 33回 試験対策
- 34回 後期試験
- 35回 試験返却
- 36回 総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学、実習

きょうざい  
教材

動物看護実習テキスト

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

特になし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物解剖生理学 I

## (授業概要)

身体各部分の形態や機能を詳しく学ぶことで、身体の恒常性(ホメオスタシス)について理解し、動物の管理に関わる仕事に必要な知識を身につける。

|                  |                                |                          |    |
|------------------|--------------------------------|--------------------------|----|
| か科               | 生命科学科                          | きょういん<br>教員              | 森  |
| コース              | ドッグスペシャリストコース<br>トリミングサロン起業コース | きょういん じつむけいけん<br>教員の実務経験 | ○  |
| たいしょうねんじ<br>対象年次 | 1年次                            | ねんかんたんいじかん<br>年間単位時間     | 36 |

## もくひょう 目標

### 1 学期

身体を形成する各系統や重要諸臓器の機能と形態に関し、主要な性状及び特質を十分に理解認識し、説明できるようになる。

### 2 学期

同上

## じゅぎょうけいかく 授業計画

### 1 学期

- 1回 ガイダンス
- 2回 神経系(脳、脊髄、神経)(1)
- 3回 神経系(脳、脊髄、神経)(2)
- 4回 神経系(脳、脊髄、神経)(3)
- 5回 感覚器系(眼、耳、鼻、舌)(1)
- 6回 感覚器系(眼、耳、鼻、舌)(2)
- 7回 感覚器系(眼、耳、鼻、舌)(3)
- 8回 内分泌系(ホルモン)(1)
- 9回 内分泌系(ホルモン)(2)
- 10回 内分泌系(ホルモン)(3)
- 11回 試験免疫系

- 12回 試験返却  
13回 (リンパ系、免疫細胞)(2)  
14回 免疫系(リンパ系、免疫細胞)(3)

## 2学期

- 15回 呼吸器系(咽喉頭、気管、肺)(1)  
16回 呼吸器系(咽喉頭、気管、肺)(2)  
17回 循環器系(心臓、血管)(1)  
18回 循環器系(心臓、血管)(2)  
19回 循環器系(心臓、血管)(3)  
20回 肝臓(1)  
21回 肝臓(2)  
22回 膵臓(1)  
23回 膵臓(2)  
24回 消化器系(胃、腸)(1)  
25回 消化器系(胃、腸)(2)  
26回 消化器系(胃、腸)(3)  
27回 泌尿器系(腎臓、膀胱)(1)  
28回 泌尿器系(腎臓、膀胱)(2)  
29回 生殖器系(卵巣、子宮、精巣)(1)  
30回 生殖器系(卵巣、子宮、精巣)(2)  
31回 試験生殖器系  
32回 試験返却  
33回 (卵巣、子宮、精巣)(3)  
34回 骨格系(骨、筋肉、皮膚)(1)  
35回 骨格系(骨、筋肉、皮膚)(2)  
36回 まとめ

じゆぎょう ほうほう  
授業の方法

座学

きょうざい  
教材

自作テキスト

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

ノートを纏めなおし、授業前に教員に提示する

実務経験と授業科目の関係

獣医

# 動物関連法規学Ⅰ

## (授業概要)

動物を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師）を行う上で必要となる動物に関する法律を身につける。

|                  |                                 |                          |       |
|------------------|---------------------------------|--------------------------|-------|
| 科                | 生命科学科                           | きょういん<br>教員              | 井田 竜馬 |
| コース              | ドッグスペシャリストコース・<br>トリミングサロン起業コース | きょういん じつむけいけん<br>教員の実務経験 | ○     |
| たいしょうねんじ<br>対象年次 | 1年                              | ねんかんたんいじかん<br>年間単位時間     | 36    |

## もくひょう 目標

### 1 学期

法律の仕組み、狂犬病予防法などを理解し説明できるようになる。

### 2 学期

動物愛護法などを理解し説明できるようになる。

## じゅぎょうけいかく 授業計画

### 1 学期

- 1回 授業概要説明
- 2回 法律の仕組み
- 3回 狂犬病予防法（1）狂犬病の特徴
- 4回 狂犬病予防法（2）狂犬病の特徴
- 5回 狂犬病予防法（3）狂犬病予防法の概要（施行年、目的など）
- 6回 狂犬病予防法（4）対象動物、輸入禁止動物
- 7回 狂犬病予防法（5）飼い主などの義務（畜犬登録など）
- 8回 狂犬病予防法（6）飼い主などの義務（罰則など）
- 9回 動物が亡くなった後に注意すべき事柄（1）（化製場法、廃棄物処理法など）
- 10回 動物が亡くなった後に注意すべき事柄（2）（墓地埋葬法など）
- 11回 動物が亡くなった後に注意すべき事柄（3）（墓地埋葬法など）
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 ペットフード安全法（1）法の成立の背景
- 15回 ペットフード安全法（2）ペットフードの定義
- 16回 ペットフード安全法（3）製造者などの義務
- 17回 ペットフード安全法（4）成分・表示義務

### 2 学期

- 18回 前期振り返り



- 19回 動物愛護法 (1) 法の制定の背景・経緯
- 20回 動物愛護法 (2) 法の制定の背景・経緯
- 21回 動物愛護法 (3) 目的、基本原則
- 22回 動物愛護法 (4) 飼い主の責務
- 23回 動物愛護法 (5) 飼い主の責務
- 24回 動物愛護法 (6) 動物虐待 (愛護動物)
- 25回 動物愛護法 (7) 動物虐待 (罰則)
- 26回 動物愛護法 (8) 動物虐待 (虐待の定義)
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却・解説
- 29回 動物愛護法 (9) 動物取扱業 (定義・業種)
- 30回 動物愛護法 (10) 動物取扱業 (第一種動物取扱業者の義務)
- 31回 動物愛護法 (11) 動物取扱業 (第一種動物取扱業者の義務)
- 32回 動物愛護法 (12) 動物取扱業 (第一種動物取扱業者の義務)
- 33回 動物愛護法 (13) 動物取扱業 (第二種動物取扱業)
- 34回 動物愛護法 (14) 特定動物
- 35回 動物愛護法 (15) 自治体の役割、マイクロチップ装着
- 36回 1年総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートやプリントに関しポイントをまとめ直し、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎健康管理学 I

## (授業概要)

動物園などの陸上大型動物の飼育員になるために必要な管理方法や知識について、犬や猫といった身近なペット動物を中心に日常的な健康管理や予防について学び、実践できるようになる

|      |               |         |    |
|------|---------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 石原 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○  |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位数   | 36 |

## 目標

### 1 学期

犬や猫の日常的な健康管理と予防について学び、正常時と異常時の違いを理解する

### 2 学期

1学期に引き続き健康学と予防について学ぶ。またそれらを基礎とし、様々な疾患について理解する

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 第一章「日常の健康管理」散歩・運動について
  - 2回 第一章「日常の健康管理」排尿・排便について①
  - 3回 第一章「日常の健康管理」排尿・排便について②
  - 4回 第一章「日常の健康管理」全身の手入れについて①
  - 5回 第一章「日常の健康管理」全身の手入れについて②
  - 6回 第一章「日常の健康管理」全身の手入れについて③
  - 7回 第一章「日常の健康管理」口腔衛生について①
  - 8回 第一章「日常の健康管理」口腔衛生について②
  - 9回 第一章「日常の健康管理」ワクチンについて①
  - 10回 第一章「日常の健康管理」ワクチンについて②
  - 11回 前期試験
  - 12回 前期試験返し・解答
  - 13回 第一章「日常の健康管理」犬の登録について
  - 14回 第一章「日常の健康管理」避妊、去勢について
- ### 1 学期
- 15回 第一章「日常の健康管理」犬糸状虫症について①
  - 16回 第一章「日常の健康管理」犬糸状虫症について②
  - 17回 第一章「日常の健康管理」外部寄生虫について①
  - 18回 第一章「日常の健康管理」外部寄生虫について②
  - 19回 第一章「日常の健康管理」外部寄生虫について③

- 20回 第一章「日常の健康管理」腸管内寄生虫について①
- 21回 第一章「日常の健康管理」腸管内寄生虫について②
- 22回 第一章「日常の健康管理」腸管内寄生虫について③
- 23回 第二章「食餌管の管理」栄養の基礎的知識について①
- 24回 第二章「食餌管の管理」栄養の基礎的知識について②
- 25回 第二章「食餌管の管理」食事を与える際の注意について①
- 26回 第二章「食餌管の管理」食事を与える際の注意について②
- 27回 第二章「食餌管の管理」自家製フード、市販フードについて
- 28回 第二章「食餌管の管理」肥満と食事について
- 29回 第三章「応急処置」動物の状態確認について
- 30回 第三章「応急処置」外傷の応急処置について
- 31回 第三章「応急処置」その他の応急処置について
- 32回 後期試験
- 33回 後期試験返し・解答
- 34回 第一章、第二章の振り返り
- 35回 課題
- 36回 総復習

授業の方法

講義

教材

コンパニオンアニマルの健康管理学（教科書）、動物

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

# 基礎生物学

## (授業概要)

高校の生物の復習を基本に、身近な生物や人体について、より深く実感を持って理解する。

|      |               |         |      |
|------|---------------|---------|------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 黒川 花 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 |      |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36   |

## 目標

1 学期…細胞と遺伝の法則等について理解する。

2 学期…主な臓器、免疫の仕組み、生命の変遷、生物学の基本について学ぶ。

## 授業計画

### 1 学期

- 1 回 細胞の構造(1)
- 2 回 細胞の構造(2)
- 3 回 生体を構成する物質
- 4 回 タンパク質、酵素
- 5 回 遺伝子とゲノム
- 6 回 遺伝、メンデルの法則(1)
- 7 回 遺伝、メンデルの法則(2)
- 8 回 いろいろな遺伝
- 9 回 ヒトと遺伝
- 10 回 恒常性、体液、循環系
- 11 回 肝臓
- 12 回 前期試験
- 13 回 前期試験返却、答合わせ
- 14 回 動物の組織と器官

### 2 学期

- 15 回 復習
- 16 回 腎臓
- 17 回 消化器系
- 18 回 神経と感覚
- 19 回 自律神経
- 20 回 ホルモン
- 21 回 生体防御(1)

22回 生体防御(2)免疫と疾病

23回 小テスト

24回 46億年(1)

25回 46億年(2)

26回 自習

27回 進化と形態

28回 分類

29回 学名

30回 系統樹。ドメイン

31回 原核生物界、原生生物界

32回 植物界。菌界

33回 動物界

34回 後期試験

35回 後期試験返却、答合わせ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

教材と印刷物配布

きょうざい  
教材

浜島書店『生物図表』

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

特になし。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

# 栄養学 I

## (授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理についての知識を身に着ける。

|      |               |         |    |
|------|---------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 橋本 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ○  |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36 |

## 目標

### 1 学期

動物にとって適切なエネルギー量がどのようにして決定されるのかを知るとともに、動物に与える食事の内容を理解する。また、エネルギー要求に付随する栄養素の評価法や、要求量の計算方法を身に着ける。

### 2 学期

肥満、腎疾患を中心とした、各種疾患に対するフードの選択を理解するとともに、それぞれの疾患に対する、手作り食の作り方を学ぶ。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 自己紹介、ガイダンス・栄養学とは
- 2回 五大栄養素
- 3回 栄養要求の種差
- 4回 食性、嗜好性、摂食行動
- 5回 禁忌食
- 6回 犬と猫のエネルギー評価法 I
- 7回 犬と猫のエネルギー評価法 II
- 8回 犬と猫のライフステージと栄養
- 9回 犬と猫の栄養状態評価法
- 10回 前期試験対策
- 11回 前期試験
- 12回 前期試験の解答・解説
- 13回 ペットフードの種類

### 2 学期

- 14回 ペットフードに使用される原料
- 15回 サプリメント
- 16回 栄養診断

- 17回 適性給与量
- 18回 フードの選択・手作り食
- 19回 療養食：肥満
- 20回 療養食：慢性腎臓病・尿石症Ⅰ
- 21回 療養食：慢性腎臓病・尿石症Ⅱ
- 22回 療養食：慢性腎臓病・尿石症Ⅲ
- 23回 療養食：慢性腎臓病・尿石症Ⅳ
- 24回 療養食：心血管系
- 25回 療養食：消化器系
- 26回 療養食：肝疾患Ⅰ
- 27回 療養食：肝疾患Ⅱ
- 28回 療養食：糖尿病
- 29回 療養食：皮膚・アレルギー疾患Ⅰ
- 30回 療養食：皮膚・アレルギー疾患Ⅱ
- 31回 強制給餌Ⅰ
- 32回 強制給餌Ⅱ
- 33回 後期試験対策
- 34回 後期試験
- 35回 後期試験の解答・解説
- 36回 総復習

授業の方法

講義、問題演習

教材

認定動物看護師コアカリキュラム 2019 準拠、臨床動物看護学②（動物臨床栄養学）、臨床栄養指導 認定動物看護師 試験教本 動物栄養学、犬と猫の栄養学

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

栄養学で得た知識を基に、自身のペットのフードの内容を確認する。

実務経験と授業科目の関係

有

# 資格対策

## (授業概要、目的)

サービス接遇検定 3 級及び、愛玩動物飼養管理士 2 級の試験合格を目的とする。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定に関しては問題集と試験対策の資料を使いサービス接遇の基本的な知識や正しい接客マナーの所作などを勉強する。

愛玩動物飼養管理士については教本 2 冊、スクーリング、課題報告問題を使いながらペット動物の飼養について正しい知識を身に付ける。

|      |                 |         |    |
|------|-----------------|---------|----|
| 科    | 生命科学科           | 教員      | 荻野 |
| コース  | DOG、SML、TEP、VN1 | 教員の実務経験 | ×  |
| 対象年次 | 1 年             | 年間単位時間  | 36 |

## 目標

### 1 学期

- ・基本的なサービス(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。
- ・教本(過去問題集)を使いながら相手が快適と感じる行動や、相手が感じの良いと思うような言葉遣いを正しく判断し選択することができるようになる。
- ・サービス接遇検定 3 級検定試験への合格を最終目標とする。(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの理論問題が 60%以上、Ⅳ、Ⅴの実技問題も 60%以上の正答率で合格)

### 2 学期

愛玩動物飼養管理士 2 級取得を目指す。

過去問題及び課題問題を中心に解いていく。

課題報告問題の 8 割正答を目指す。

## 授業計画

### 1 学期 サービス接遇検定

- 1 回 オリエンテーション(受験申込書記入、試験概要)
- 2 回 サービススタッフの資質について
- 3 回 専門知識
- 4 回 一般知識
- 5 回 対人技能
- 7 回 実務技能
- 8 回 復習(2 回～5 回)



- 9回 模擬試験
- 10回 試験前各自復習
- 11回 資格試験の実施
- 12回 合否発表・配布物
- 13回 資格試験の解答・解説
- 14回 サービス接遇検定2級・準1級について
- 15回 期末試験対策(復習)
- 16回 期末試験対策(復習)
- 17回 期末試験の実施
- 18回 試験返却、解説

## 2学期 愛玩動物飼養管理士

- 19回 オリエンテーション(受験申込書記入、試験概要)
- 20回 愛玩動物飼養管理士について
- 21回 人と動物の関係学
- 22回 スクーリング
- 23回 動物関係法令
- 24回 ペット業界の現状と広がり
- 25回 課題報告問題
- 26回 動物の体の仕組みと働き
- 27回 各動物の飼養管理
- 28回 動物のしつけ
- 29回 復習
- 30回 資格試験の実施
- 31回 合否発表
- 32回 試験対策
- 33回 試験対策
- 34回 試験対策
- 35回 期末試験の実施
- 36回 試験返却 解説

### 授業の方法

過去問題集の実践、課題資料の配布、スクーリング、課題報告問題

### 教材

サービス接遇検定実問題集(3級) 愛玩動物飼養管理士2級教本

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

過去問題の復習を行い間違った問題に関しては繰り返して解き完全回答を目指す。

校内図書室にも過去問題集の設置あり。

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

# 陸上実習

## (授業概要)

様々な運動競技を通して、校外実習や就職時の際に必要な基礎体力の維持・向上を図る。  
また、チーム戦を通じて個々の協調性、積極性、自主性も高める。

|      |               |         |       |
|------|---------------|---------|-------|
| 科    | 生命科学科         | 教員      | 高橋 萌夢 |
| コース  | ドッグスペシャリストコース | 教員の実務経験 | ×     |
| 対象年次 | 1年            | 年間単位時間  | 36    |

## 目標

### 1 学期

- ・ 点呼(時間厳守)→ラジオ体操→外周の流れを理解し自主的に動けるようになる。
- ・ 安全に基礎体力を身につける。
- ・ 自己管理ができるようになる。

### 2 学期

- ・ スポーツ大会での目標を全員一致させそれに向けて動くことができる。
- ・ 安全に基礎体力を身につける。

## 授業計画

- 1回 自己紹介 ラジオ体操・外周ランニングオリエンテーション
- 2回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 3回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 4回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 5回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 6回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 7回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 8回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 9回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 10回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 11回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 12回 前期期末試験(筆記) 実施
- 13回 前期期末試験(筆記) 返却
- 14回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 15回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 16回 外周ラン ラジオ体操 スポーツ大会練習

|     |               |       |                             |
|-----|---------------|-------|-----------------------------|
| 17回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | スポーツ大会練習                    |
| 18回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | スポーツ大会練習                    |
| 19回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | スポーツ大会練習                    |
| 20回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | スポーツ大会練習                    |
| 21回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | スポーツ大会練習                    |
| 22回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 23回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 24回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 25回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 26回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 27回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 28回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 29回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 30回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 31回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 32回 | 後期期末試験(筆記) 実施 |       |                             |
| 33回 | 後期期末試験(筆記) 返却 |       |                             |
| 34回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 35回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |
| 36回 | 外周ラン          | ラジオ体操 | 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等) |

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

実習

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

自宅でのストレス及び筋力トレーニング

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

なし